

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
宇美町地域公共交通活性化協議会	<p>～事業の主な内容～</p> <p>【AIオンデマンドバス「のーと宇美」効果検証】</p> <p>1)利用実績データを分析 ・利用時間帯、曜日、利用回数、特性などを収集分析</p> <p>2)「のーと宇美」利用者アンケート調査 ・LINEから予約を行った利用者アンケートを実施</p> <p>3)有効性の分析 ・「のーと宇美」導入前の福祉巡回バス「ハピネス号」よりも実質的な便数が増え、60歳未満の利用はハピネス号は15%に対して、のーと宇美は47%と大幅に増加しており、幅広い年代にご利用いただいており、利用人数も増加している。</p> <p>【地域公共交通計画(案)の作成】</p> <p>1)基本方針等の検討 2)計画の目標、指標等の検討 3)施策・事業の検討 4)計画案の取りまとめ</p> <p>【地域公共交通活性化協議会の運営】</p> <p>・計画策定に向けた調査分析内容や、調査結果を受けて、今後の施策等についての在り方や当町の目指すべき将来像や基本方針や施策、目標設定等を議論するための協議会を開催した。</p> <p>令和6年2月に計画についての協議会(案)を策定し、パブリックコメントを実施して計画策定完了とする。</p>	A	<p>当町における公共交通の現状を把握し、各種データの収集分析を行い生活交通の課題や問題を把握するとともに、その課題解決に向け、まちづくりの基本となる総合計画など各種政策との整合性を図りつつ、地域公共交通の課題や実情、交通事業者の実態に即した交通体系のあり方を協議し、宇美町地域公共交通計画を策定したことから、事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 宇美町地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIオンデマンドバス「のーと宇美」効果検証 ・地域公共交通計画(案)の作成 ・地域公共交通活性化協議会の運営 <p>【宇美町が目指す将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町の地域公共交通の将来像を次のように設定した。 『誰もが安心して、心地よく暮らせる、地域公共交通』 <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公共交通体系の利便性と持続性を高める。 ②公共交通の利用環境を高める。 ③公共交通の積極的な利用回数の増加に取り組む。 <p>上記の基本方針に基づき、町・各交通事業者・利用者が担うべき役割を明確にし、様々な施策に取り組むことで持続可能な交通体系を構築する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>まちづくり・福祉等の様々な分野と連携した公共交通利用策を展開し、地域の住民の生活を支えるとともに、デマンド型乗合バス・タクシーも含めた持続可能な公共交通が実現されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
桂川町地域公共交通会議	<p>【町内の公共交通に関する現況調査】 本町における現状の整理及び各種公共交通における現状の整理。</p> <p>【本町住民の地域公共交通に関するニーズ把握】 町民アンケート及び高校生アンケートを実施し、本町における公共交通の意向把握を行った。</p> <p>【桂川町地域公共交通計画(案)のとりまとめ】 本町の特性等を考慮し、持続可能な公共交通の構築を図るため、地域公共交通に関する調査等を実施し、現状における課題、今後の施策等を反映した計画(案)のとりまとめを行った。</p> <p>【協議会開催】 計画策定に向けた調査結果を受け、計画内容や課題・施策、上位・各種関連計画との整合を図り、今後の地域公共交通のあり方について議論するため、協議会を開催した。</p> <p>【その他】 ・パブリックコメントの実施(2月) ・計画策定(3月)</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 桂川町地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】 ・町内の公共交通に関する現況調査 ・本町住民の地域公共交通に関するニーズ把握 ・桂川町地域公共交通計画(案)のとりまとめ】 ・協議会開催</p> <p>【基本方針】 笑顔あふれるまち"けいせん"を支える持続可能な公共交通ネットワークの形成 1 公共交通サービスの充実 2 多様な主体との連携強化 3 町民等の公共交通利用の促進 4 新たな公共交通利用者の発掘・育成</p> <p>【計画期間】 令和6年度から令和10年度の5年間</p> <p>【計画区域】 桂川町全域及び関連する隣接市</p>	<p>今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された桂川町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
大川市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <p>1. 地域の概況に関する整理、公共交通の現状整理 既存資料や既往調査結果等により地域の交通状況や公共交通の利用状況を把握</p> <p>2. 市民アンケート調査、交通事業者ヒアリングの実施、地域の運送サービスの把握 住民アンケート調査、生活支援バス利用実態調査(アンケート調査)、交通事業者ヒアリング調査を実施</p> <p>3. 公共交通の問題点・課題の整理、大川市地域公共交通計画(案)のとりまとめ 1. 及び2. の収集資料及び調査結果を活用し問題点の抽出・整理を行い、取り組み方針をまとめた。</p> <p>4. 地域公共交通協議会の開催 1～3について協議会で議論した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 大川市地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の概況に関する整理、公共交通の現状整理 市民アンケート調査、交通事業者ヒアリングの実施、地域の運送サービスの把握 公共交通の問題点・課題の整理、大川市地域公共交通計画(案)のとりまとめ 地域公共交通協議会の開催 <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 利用者のニーズに合った 地域公共交通 2: 持続可能で活気のある地域公共交通 3: 利用者・事業者双方にとってやさしい地域公共交通 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを踏まえ、利用しやすい 地域公共交通を実現。 ・市民、交通事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、実践することで、持続可能な地域公共交通を実現。 ・日常生活をはじめとした市内外との交流促進を担い、地域の活力の基盤となる地域公共交通を実現。 ・デジタル技術等の新たな技術や先進的な知見を取り入れ、利用者・事業者双方にとってやさしい地域公共交通を実現。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された大川市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、交通計画の基本方針に向けて関係者間で連携した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
筑紫野市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査、地区別懇談会、乗り込み調査の実施 ・会議運営 ・地域の公共交通計画(マスタープラン)のとりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連計画より整理した「地域公共交通の役割」と、各現況分析から抽出した「地域公共交通に関する課題」を整理した。 ・上位計画及び関連計画との整合性を考慮し、基本方針・目標を定め、目標達成のための施策・事業の検討を行った。 ・上記の内容を踏まえ、筑紫野市地域公共交通会議へ諮るための計画素案を作成した。 ・今後、パブリックコメントによる意見募集を踏まえ、「筑紫野市地域公共交通計画」の取りまとめを行う。 	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)</p>	<p>計画策定にあたっては、上位計画である第七次筑紫野市総合計画及び第二期筑紫野市都市計画マスタープラン等の関連計画との連携・整合を考慮し、以下のとおり計画の基本方針、目標を設定した。</p> <p>【基本方針】</p> <p>「みんなで創る持続可能で安全安心な公共交通の実現」</p> <p>【目標】</p> <p>「①将来まちづくりの軸となる利便性の高い地域公共交通網の形成」「②各種行政課題への対応を視野に入れた総力戦による施策体系の構築」「③多様なモード連携による効率的かつ有機的な地域公共交通網の形成」「④利便性を維持しつつも持続可能性を備えた地域公共交通体系の実現」「⑤地域公共交通の利用促進・需要創出の推進」「⑥地域住民・事業者・行政の連携・協働による地域公共交通の形成」</p> <p>上記をもとに、課題解決のための施策及び事業を検討し、計画素案を作成した。パブリックコメント終了後、筑紫野市地域公共交通会議において承認を得た上で、「筑紫野市地域公共交通計画」として公表する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された筑紫野市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
筑前町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の公共交通に関する現況調査 ・地域住民のニーズ把握 ・地域の交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の資料を活用し地域特性や地域の公共交通に関する現状を把握した。 ・住民アンケート(64歳以下)、高齢世帯アンケート(65歳以上のみ世帯)の他、公共交通利用者のアンケートを実施し、利用実態や利用者のニーズ把握を行った。 ・筑前町における地域公共交通の目指す将来像や基本方針と目標について検討し、実現に向けた施策についてとりまとめを行った。 ・筑前町地域公共交通会議において、地域公共交通計画(案)について協議を行った。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>【補助対象事業名】</p> <p>筑前町地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【基本方針】</p> <p>方針①変わりゆくまちにあわせた、公共交通網の形成による定住促進</p> <p>方針②多様な移動手段の共存、持続的な交通に向けた輸送資源相互連携による公共交通の維持</p> <p>方針③適材適所、使い勝手の良い公共交通環境の整備促進</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された筑前町における公共交通の現状を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
添田町地域公共交通会議	<p>○地域内の公共交通に関する現況調査 (内容)上位・関連計画における公共交通の位置づけ、関連性等の整理、地域状況、町内における公共交通の変遷等を把握するとともに、交通事業者へのヒアリング調査を実施する。 (結果)現状における町内の公共交通に関する問題点や課題を抽出し、今後の地域公共交通ネットワークの維持・充実に向けた要件を整理した。</p> <p>○地域住民のニーズ把握 (内容)前年度に実施した調査結果等を基に、公共交通に関する町民や利用者のニーズを整理する。必要に応じ、追加調査や住民意見交換会を開催する。 (結果)前年度の調査結果を整理するとともに、追加調査として、JRとBRTの乗換え駅において利用者アンケートを実施した。また、日田彦山線BRTの運行開始に伴う町バス見直しの説明会を開催し、利用状況等の意見を聴取した。</p> <p>○添田町地域公共交通計画(案)のとりまとめ (内容)前述の「地域内の公共交通に関する現況調査」、「地域住民のニーズ把握」の結果にもとづき、今後の公共交通のあり方や高齢者をはじめとする交通弱者の対応のあり方等を検討し、添田町地域公共交通計画案を策定する。 (結果)本町における公共交通の現状や課題を踏まえ、持続可能で利便性や効率性の高い公共交通網の維持・確保に向けた取り組みを実現するための計画(案)をとりまとめた。</p> <p>○交通会議(協議会)開催 (内容) 計画策定に向けた調査内容、今後の交通体系のあり方について議論するための交通会議を開催する。 (結果) 計画策定に向けた調査内容、調査結果等を受け、今後の交通体系のあり方について、書面および対面により議論をおこなった。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助申請を行う補助対象事業名】 添田町地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】 ・地域内の公共交通に関する現況調査 ・地域住民のニーズ把握 ・添田町地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・交通会議(協議会)開催</p> <p>【実施時期】 令和5年度末策定予定</p> <p>【調査結果を受けた計画策定の方針】 (将来像)暮らしと交流を支える地域公共交通を実現する(基本方針) ・町民が利用しやすい持続可能な公共交通体系を実現する ・町外も含めて公共交通を利用する人を増やす ・町民・行政・公共交通事業者・地域みんなで公共交通を支える</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された添田町における公共交通のニーズ等の現状を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
宮若市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の公共交通の現況整理 ・市民ニーズ把握調査・交通事業者へのヒアリング調査 ・公共交通に関する課題の把握・対応策の検討 ・地域の公共交通計画(案)のとりまとめ ・交通会議開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎データ(国勢調査等)の整理により、地域の公共交通に関する現状を把握した。 ・住民アンケートや関係機関・交通事業者に対するヒアリングを実施し、移動ニーズや公共交通の利用実態、課題等を把握した。 ・住民アンケートや関係機関等へのヒアリングによって把握した問題点等の課題を整理し、課題等への対応策の検討を行った。 ・宮若市総合計画や関連計画を踏まえつつ、宮若市にとって望ましい公共交通網のあり方の基本方針をとりまとめるとともに、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業のとりまとめを交通会議を開催し行った。 	A	<p>事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 宮若市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の公共交通の現況整理 ・市民ニーズ把握調査・交通事業者へのヒアリング調査 ・公共交通に関する課題の把握・対応策の検討 ・地域の公共交通計画(案)のとりまとめ ・交通会議開催 <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 誰もが安心して使いやすい公共交通の実現と維持 2 多様な交通機関の維持と効率的な運用による利便性の向上 3 市内外への移動がしやすい公共交通ネットワークの形成 4 多様な主体の連携・共同による持続可能な体制や仕組みの構築 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された宮若市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定期間中、比較的高頻度で協議会を開催し、関係者間で様々な議論及び情報共有を行ってきたものと思われませんが、計画策定後においても同様に、定期的な協議会等を開催および、関係者への情報共有および計画に沿った取組みについての議論が活発に行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
苅田町地域公共交通会議	<p>①地域内の公共交通に関する現況調査 【内容】 本町の現況及び将来動向を把握するための調査 【結果】 既存資料、統計データから施設立地状況、交通網整備状況、交通利用状況を整理した。</p> <p>②公共交通の利用状況に関する住民アンケート調査 【内容】 住民アンケートについては、公共交通(鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシーなど)の利用実態や要望等に関する調査を行った。併せて関連事業者・団体アンケートについては、公共交通の課題や利用者ニーズ等に関する調査を行った。 【結果】 住民アンケートについては、町内在住18歳以上から無作為抽出した住民2,500人にアンケート調査を実施した。関連事業者・団体アンケートについては、交通事業者・企業・地域団体・生活施設・学校・自治会にアンケート調査を実施した。</p> <p>③苅田町地域公共交通計画(案)のとりまとめ 【内容】 上記の分析結果を基に、持続可能な公共交通網の再編を図るための基本理念や目標等について検討し、計画(案)をとりまとめた。 【結果】 持続可能な公共交通を実現するべく、基本理念と4つの基本方針を設定し、目標と評価指標を定めた。</p> <p>④協議会開催 【内容】 計画策定に向けた協議会の開催 【結果】 計画策定に向けた調査内容や調査結果を受けて、本町にとって望ましい交通体系のあり方について議論するため、協議会を開催した。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 苅田町地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】 ・地域内の公共交通に関する現況調査 ・公共交通の利用状況に関する住民アンケート調査 ・苅田町地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催</p> <p>【基本理念】 “住みやすいまち 苅田”を持続的に支える公共交通環境の実現</p> <p>【基本方針】 1 誰もが安心して利用でき、町民の暮らしを支える公共交通を目指す 2 公共交通の相互連携による一体的なネットワークを目指す 3 持続性の高い公共交通を目指す 4 多様な主体の“共創”により地域で守る公共交通を目指す</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された苅田町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
古賀市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <p>(1)公共交通需要の調査</p> <p>(2)沿線のまちづくり動向の調査</p> <p>(3)地域公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <p>(4)協議会の開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>(1)市民の移動特性や公共交通の利用実態等を把握し網形成画記載のデータをベースに最新情報へ更新した。また、網形成計画記載の施策・事業の進捗状況等を整理し効果検証結果を基に、地域公共交通の問題点について整理した。</p> <p>(2)上位・関連計画をもとに本市のまちづくりの将来像やその実現にむけて地域公共交通が果たすべき役割を整理した。また、対象者の移動特性や需要量等を把握するため関係課等にヒヤリングを実施した。</p> <p>(3)市民の移動ニーズに対応した持続可能な公共交通体系の構築にむけた基本方針や目標、施策等を検討し、将来需要に応じた交通サービスへの再編方針を検討した。また、各種施策や計画の目標等について地域の交通事業者等との協議を実施した。</p> <p>(4)計画策定にむけた調査内容や結果を受けて、今後の公共交通のあり方について議論するため交通会議を開催した。</p> <p>今後、パブリックコメント実施予定。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】</p> <p>古賀市地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1)公共交通需要の調査</p> <p>(2)沿線のまちづくり動向の調査</p> <p>(3)地域公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <p>(4)協議会の開催</p> <p>【実施時期】</p> <p>令和5年度末策定予定</p> <p>【基本方針】</p> <p>①利便性と効率性が確保された市内交通ネットワークの構築</p> <p>②移動ニーズに細やかに対応する交通サービスの確保</p> <p>③公共交通と連携したまちのにぎわいづくりの創出</p> <p>④市外への外出の機会を確保する鉄道・広域路線バスの維持</p> <p>⑤公共交通の持続可能性の向上に向けた取組の推進</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された古賀市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>計画策定後は、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
大木町地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の公共交通に関する現況調査、アンケート調査 ・地域の公共交通計画(案)の取りまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <p>地域内の公共交通に関する現況調査及びアンケート調査を実施し、その調査結果及び既存資料から、地域公共交通計画に関する課題を分析、整理し、地域にとって望ましい公共交通網の在り方を基本方針へまとめ、協議会において持続可能な公共交通網の形成に向けた協議を行い、公共交通計画を取りまとめた。主な調査結果として、以下の3つの課題が明らかになった。①移動の助けを必要としている人の手段の確保が必要。②効率的、効果的な公共交通運営の見直しが必要。③町民全体で公共交通を支える環境づくりの支援が必要。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【名称】大木町地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の公共交通に関する現況調査、アンケート調査 ・地域の公共交通計画(案)の取りまとめ ・協議会開催 <p>【時期】令和5年9月～12月に現況調査及びアンケート調査を実施し、令和6年3月までに計画案をとりまとめた。</p> <p>【方針】「みんなで支え・育てる、持続可能な公共交通サービス体系の構築」を基本理念として、以下の基本方針で取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町民の生活を支える地域の持続可能な交通体系づくり ②誰もが快適・簡単に利用でき、サービスを維持できる環境づくり ③みんなで支え、創り、育てる交通環境の連携づくり 	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。今回の調査で整理された大木町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
太良町地域公共交通活性化協議会	<p>■計画策定方針の作成</p> <p>■現状把握と課題の整理 ①福祉バス、送迎バス等の実態調査 【主な調査結果】 ・太良町内に公共交通に準じる送迎バスを運行している事業所、病院はなかった。 ・介護施設等に関しては、8つの施設が送迎サービスを行っている。</p> <p>②住民の意識・ニーズ調査 【主な調査結果】 ・運転免許の保有状況は「日頃運転している」が最も多い。 ・自宅からバス停までの徒歩での所要時間は「5分以内」が最も多い。 ・買い物、通院時の移動手段は自家用車(自分で運転)が最も多い。</p> <p>③コミュニティバス乗降調査 【主な調査結果】 ・しおさい館、町立太良病院での乗降者が特に多い。 ・利用頻度は「週に1~2日」が最も多く、次いで「週に2~3日」が多い。 ・年齢は「80歳以上」が最も多く、次いで「70歳~79歳」が多い。</p> <p>④意見交換会 【主な意見】 ・「公共交通機関の時間に自分の生活をどう合わせるか、意識を変えるのが難しい」 ・「コミュニティバスを面白くする会を作り、面白く出来たらよい。地区ごとにコミュニティバスを利用して、イベントを企画する」など</p> <p>■地域公共交通計画(案)の作成</p> <p>■地域公共交通計画書の作成</p> <p>■協議会開催</p>	A	<p>事業は当初の計画どおり実施される見込みである。</p>	<p>■事業1 コミュニティバス運行システムの強化 【事業内容】 ・運行ルートの見直し、バス停位置の見直し、運行日および運行時間の見直し 【実施時期】 R7~R10 ■事業2 鉄道、路線バス、タクシーとコミュニティバスとタクシーの相互連携 【事業内容】 ・鉄道、路線バスの事業継続、運行情報の提供、タクシー利用券の使用率向上 【実施時期】 R6~R10 ■事業3 快適な待合空間の確保 【事業内容】 ・交通結節点の環境整備、主要バス停の整備、周辺施設の待合施設としての利用促進 【実施時期】 R7~R10 ■事業4 利用促進策の展開 【事業内容】 ・情報提供、回数券等の販売、観光振興による地域公共交通利用促進 【実施時期】 R6~R7 ■事業5 太良地域公共交通連絡協議会の主体的・継続的活動 【事業内容】 ・連絡協議会の定期的開催、連絡協議会による調査・提案・実施 【実施時期】 R8~R10 ■事業6 中長期的課題の継続的検討 【事業内容】 ・交通空白地の解消、隣接自治体との相互乗入れ、JR、祐徳バスの減便への対応、新しい技術の導入 【実施時期】 R6~R10(検討)</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。今回の調査で整理された太良町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を深めながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
伊万里市民と考える地域交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎データの整理 ・利用者ヒアリング調査 ・市民アンケート調査 ・公共交通事業者ヒアリング調査 ・地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・伊万里市民と考える地域交通会議の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存資料等を活用し、地域特性や公共交通に関する現況を整理した。 ・利用者ヒアリング調査により、各公共交通利用者の利用状況や意見、ニーズを把握できた。 ・市民、高校生アンケート調査により、市内での移動需要や公共交通の利用状況を把握できた。 ・公共交通事業者へのヒアリング調査により、事業者の課題を把握できた。 ・各種調査結果を踏まえ、持続可能な公共交通の形成に向けた目標、事業等を反映させた計画素案を作成。 ・今後計画素案のパブリックコメントを経て、交通会議による最終審議を行い令和5年度中の計画策定を行う予定。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	誰もが将来にわたって住みやすいまちづくりを進める中で、各地域の市民の交通需要を的確に把握したうえで、まちづくりとの一体性を確保しながら、利便性が高く経済性も考慮した持続可能な交通ネットワークの構築を目指す。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。今回の調査で整理された伊万里市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
佐世保市・佐々 町地域公共交 通活性化協議 会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ネットワーク体系の検討 ・交通資産の取扱いについての検討 ・交通不便地区対策の検討 ・新たな交通モードの検討 ・既存及び新たな交通モード間における連携策の検討 ・共創による異業種事業間連携の可能性についての検討 ・公共交通機関の利用促進及び需要創造策の検討 ・公共交通計画素案のとりまとめ ・計画達成状況の評価・分析方法及び改善の反映方法の検討 ・協議会・幹事会開催 <p>【結果概要】</p> <p>《調査方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者から提出された系統別の運行状況や収支等の情報を踏まえた現状分析や将来予測等を実施するとともに、交通事業者との対話を通じて今後の導入施策について検討。 ・交通ICカードデータを用いた詳細な運行状況の分析やそれを踏まえた将来需要を調査。 ・交通資産については現地情報の収集及び事業者ヒアリングを実施し、利活用の方針等について検討 ・不便地区対策や各種モード間の連携、異業種事業者との連携に関する参考事例調査及び現地調査等を実施し、導入可能性のある施策を検討 <p>《上記調査により以下の問題点を抽出》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路線バスを中心としたエリア内各地域における需給バランスの改善の必要性 ○少子高齢化に伴うさらなる公共交通需要の減少 ○需要減に伴う交通不便地区増加の可能性 ○ドライバー不足の深刻化による公共交通サービス維持の困難性 ○地域公共交通を担う事業者の収支・経営状況の悪化 <p>現状分析等により確認された問題や課題の解決に向け、計画への位置付けが必要と考える対応方針をとりまとめた。</p>	A	<p>佐世保市及び佐々町の地域公共交通政策のマスタープランとなる佐世保市・佐々町地域公共交通計画を策定するに当たり、エビデンスに基づく施策を検討するために必要な調査を適切に実施することができた。</p>	<p>【補助対象事業名】 佐世保市・佐々町地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】 広域的な視点により各公共交通機関の現状を分析し、公共交通ネットワーク維持のための効率的・効果的手法や利便性向上等を検討する判断基準となる調査を行う。</p> <p>【実施期間】 令和7年4月～令和12年3月</p> <p>【計画策定の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりの軸となる利便性の高い公共交通ネットワークの形成 ●モード間の連携による公共交通ネットワーク全体の利便性の確保 ●持続可能な地域公共交通事業の実現 ●公共交通の利用促進・需要創造の推進 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で得られた佐世保市・佐々町における公共交通の現状を踏まえ、多様なモード間で連携し、まちづくりの軸となる持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの形成がなされることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
対馬市地域公共交通活性化協議会	<p>○関連情報の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連法令、関連事業、市の現況、地域交通資源等について整理を行った。 <p>○地域交通に関する実態、ニーズ把握調査及び分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート調査を実施した。 20歳～65歳の市民1,500人に調査票を配布。604人から回答を得た(回収率40.3%)。 ・高校生アンケートを実施した 市内3高校の1、2年生370人に調査票を配布。328人から回答を得た(回収率88.6%)。 ・高齢者アンケートを実施した 65歳以上の市民812人に調査票を配布。610人から回答を得た(75.1%)。 ・上記各種調査結果を分析することにより、地域における公共交通の課題等を明らかにすることができた。 <p>○計画作成に向けた実現可能性の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者等関係機関等への聞き取り調査を実施し、今後の方針について整理を行った。 <p>○地域の公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査内容を反映した、地域公共交通計画(案)を取りまとめた。 <p>○協議会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けた調査内容及び調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。 	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 対馬市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連情報の整理 ・地域交通に関する実態、ニーズ把握調査及び分析 ・計画作成に向けた実現可能性の把握 ・地域の公共交通計画(案)のとりまとめ <p>【実施時期】 令和6年4月～令和11年3月</p> <p>【計画策定の基本方針】 地域の移動手段を維持するため、地域公共交通ネットワークを交通資源を総動員して創り上げる。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 なかでも、様々な調査を通じて、地域の課題を細かく把握し、それに対する施策を打ち出すことが出来ている点は評価できます。 今回の調査で整理された対馬市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
川棚町地域公共交通活性化協議会	公共交通計画策定に向け、 ①現状把握に関する調査：地域の輸送手段の現況、交通事業者へのヒアリング、住民アンケート等を実施し利用実態・ニーズの把握を行った。 ② ①で実施したものから現状・問題点を洗い出し、解決すべき課題を整理した。 ③各種調査、実態把握、住民アンケート等の結果をもとに持続可能な公共交通の形成にあつた課題を整理し本町に望ましい公共交通のあり方について基本方針としてとりまとめ、協議会において承認を得た。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	補助対象事業名：川棚町地域公共交通計画策定調査業務 事業内容：地域公共交通計画策定に係る調査・検討等 実施時期等：令和5年7月3日～令和6年3月29日 基本方針：川棚町内の様々な移動サービスが担うべき役割を明確にした上で、それぞれの長所や特性を生かしてサービス全体の最適化・効率化を図り、「誰一人取り残さない」くらし輝くまちの実現を“移動”の面から力強く、かつ、きめ細かくサポートする地域公共交通体系の再構築	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された川棚町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
山鹿市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画、都市構造等に関する分析 ・地域公共交通に関する現状分析 ・評価の実施 ・市民ニーズの調査 ・地域公共交通計画の作成 ・地域公共交通活性化協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画や関連計画の整理、人口等の基礎データの整理を行った。 ・公共交通利用者数や財政負担状況等、公共交通に関するデータの整理を行った。 ・市民アンケート調査、利用者アンケート調査、ヒアリング調査等の結果を整理し、個別ニーズの把握や地域課題の整理を行った。 ・第1回協議会で計画策定の背景等を共有。 ・第2回で各種調査結果や地域公共交通に関する課題を報告し、取組の方向性(基本方針)を協議。 ・第3回で計画案を協議し、その後パブリックコメントを経て、第4回で最終報告を行う。 	A	<p>事業は計画に基づき、適切に実施された(される見込み)。</p>	<p>【補助対象事業の名称】 山鹿市地域公共交通計画策定事業</p> <p>【実施時期等】 令和5年6月12日～令和6年3月29日(完了予定)</p> <p>【基本理念】 市民の安全・安心な暮らしを支え、住み続けたいまちの基盤となるような、“持続可能で利便性の高い”地域公共交通を構築します</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①まちづくりと一体となった地域公共交通体系の形成 ②持続可能な地域公共交通サービスへの再構築 ③利用しやすい・利用したくなる地域公共交通の実現 ④地域との共創による地域公共交通サービスの展開 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で山鹿市が掲げる基本理念の実現に向け、総合計画などの上位計画との整理が図られ、まちづくりと一体となった地域公共交通体系を形成し、持続可能で使い勝手の良い公共交通サービスが実現されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
玉名市地域公共交通会議	<p>【事業内容】 ・既存の公共交通の現状分析 ・市民・利用者ニーズ等の把握調査 (市民アンケート、鉄道・バス・乗合タクシー利用者調査、 関連団体・近隣自治体アンケート) ・玉名市地域公共交通計画のとりまとめ ・協議会開催</p> <p>【結果概要】 既存の公共交通の現状分析や調査結果を基に地域課題を整理し、対策を検討した。 第6回会議で計画策定の素案を協議し玉名市が目指す公共交通の方向性を定め、第7回会議で計画(案)を協議し、その後パブリックコメントを経て、玉名市地域公共交通計画として取りまとめる。</p>	A	<p>事業は計画に基づき、適切に実施される見込み。</p>	<p>【補助対象事業の名称】 玉名市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【実施時期等】 令和6年3月完了予定</p> <p>【基本方針】 玉名市の様々な交通資源(鉄道、路線バス、一般タクシー、乗合タクシー等)を効果的に活用しながら、まちづくり等の戦略と連携を図り、持続可能なものとする。年齢や居住地域等に関係なく、誰もが快適に外出・移動することができる、一体的な交通環境づくりを進める</p> <p>【計画目標】 (1)既存の地域公共交通を基本とし、持続可能で移動ニーズに即したネットワークの形成 (2)利用促進及び認知度向上を図り、未来へつなぐ地域公共交通の実現 (3)多様な関係者との連携等による地域公共交通の確保・支援</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で玉名市が掲げる基本方針の実現に向け、多様な関係者との連携が図られ、持続可能で移動ニーズに即した交通ネットワークが形成されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
合志市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画、公共交通に係る地域の現状の整理・分析 ・地域住民、関係事業者のニーズ調査 ・公共交通に関する問題点・課題・方針の整理 ・合志市地域公共交通計画(案)のとりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの結果及び交通事業者ヒアリングの結果を整理し、市民ニーズや事業者の課題の整理を行った。協議会を3回開催し、 1回目に計画策定の目的等を共有。 2回目に地域及び公共交通事業の課題を整理し、計画の目標・方針、施策を協議 3回目に計画素案を協議し、その後、パブリックコメントを経て、合志市地域公共交通計画として最終的にとりまとめを行う。 	A	<p>事業が位置付けられたとおり適切に実施された(される見込み)。</p>	<p>【補助対象事業の名称】 合志市地域公共交通計画策定調査事業</p> <p>【実施時期等】 令和6年3月完了予定</p> <p>【計画策定の方針】 利便性の高い公共交通網が構築されたまちの実現</p> <p>【計画目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者ニーズに応じた効率的な公共交通ネットワークの形成 ②まちづくりと連携した交通拠点の強化 ③サービスの充実 ④市民、事業者、行政が一体となって取り組む持続可能な公共交通体系の構築 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で得られた合志市における公共交通の現状や課題を踏まえ、まちづくりと連携し、多様な関係者と一体となって、利用者ニーズに即した持続可能な公共交通体系の構築がなされることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
由布市地域公共交通活性化協議会	<p>1. 地域内の公共交通に関する現状調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス・コミュニティバス系統の沿線地域における人口特性、施設立地(商業施設、観光施設、医療機関等)など地域特性を把握・整理 ・既存公共交通の運行状況や利用状況の把握・整理 <p>2. 地域の公共交通利用者の実態把握、分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象として実施してきた利用者ヒアリング調査等の結果に加え、一部路線での利用実態(乗込み)調査及び市内高校生等へのアンケート調査、主要施設での利用者ヒアリングを実施し、移動手段やバス利用の実態把握と移動ニーズを分析 ・交通事業者及び庁内関係部局を対象にヒアリング調査を実施し、交通事業者の経営の方向性や市の関係部局の政策連携可能な事業等の把握 <p>3. 由布市地域公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査結果をもとに、持続可能な公共交通網の形成にあたっての問題点や課題を整理し、基本方針(案)をとりまとめ、計画素案を作成 ・計画素案について、協議会の意見集約を行ったうえでパブリックコメントを実施し、計画を策定予定 <p>4. 協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けた調査内容や、分析結果を受けて今後の交通体系の在り方について議論するための協議会を開催(予定) 第1回(8/24) 前回計画の評価・調査実施方法等(協議) 第2回(12/27) 調査結果の報告・方針の整理等(協議) 第3回(2月予定) 計画素案(協議) 第4回(3月予定) 計画素案(協議) 	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。	今回の調査結果等を踏まえ、基本方針等を決定し、令和5年度中に計画を策定予定	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。今後決定される基本方針等をもとに地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	<p>【実施した事業内容及び調査結果】</p> <p>(1) 地域特性及び公共交通に関する現状整理 前計画を評価・検証し、今後の課題を整理した上で、本市の地域特性(地理、道路・鉄道網、人口分布等)を整理しつつ、公共交通の状況や公共交通不便地域を把握した。</p> <p>(2) 地域公共交通の利用実態及びニーズの把握</p> <p>①アンケート調査 ・市民6,000世帯に郵送とWEBによるアンケート配布(回収票数1,613票、回収率26.9%) ・市内立地企業50社を対象に郵送によるアンケート配布(回収票数40票、回収率80.0%) ・市内高校6校及び市外高校5校の1年生にアンケート配布(回収票数1,154票) ・九州保健福祉大学の学生を対象に、WEBアンケート配布(回収票数：97票)</p> <p>②路線バス乗降調査・利用者ヒアリング 市内幹線軸7路線(市補助路線)において、調査員の乗込みによるインタビューを実施(回収票数：計284票)</p> <p>③主要施設ヒアリング調査 主要施設(JR延岡駅など4か所)において、調査員によるインタビューを実施(回収票数：計454票)</p> <p>④交通事業者等へのヒアリング調査 交通事業者8者(鉄道・航路・バス・タクシー事業者)と市関連部局10者に対して直接面談方式による聞き取り調査を実施</p> <p>⑤地域座談会 市内中学校単位(16地域)において、173名の市民が参加し、グループごとに分かれて意見交換を行い、各地域のニーズや課題を抽出した。</p> <p>(3) 地域公共交通の問題点・課題の整理 法改正の趣旨及び内容、本市の地域特性や公共交通の現状分析、各種ニーズ調査の分析結果を踏まえ、地域公共交通の問題点・課題を整理した。</p> <p>(4) 地域の将来像及び公共交通が果たすべき役割の整理 国・県の法令や政策、本市の上位関連計画を踏まえ、まちづくりの方向性及び公共交通施策の位置付けを整理した上で、公共交通が果たすべき役割・あり方について検討した。</p> <p>(5) 地域公共交通計画(案)の作成 基本方針を設定し、数値目標や評価の実施時期及び評価方法を整理した上で、計画実現に向けた具体的な事業や住民協力等の連携について検討した。各種検討結果を踏まえ、地域公共交通計画及び計画書概要版を作成した。</p> <p>(6) 各種会議、パブリックコメントの実施 地域公共交通活性化協議会をはじめ、交通事業者との個別の会議を行うとともに、地域公共交通計画案に対するパブリックコメントを実施した。</p>	A	<p>○令和5年度中に地域公共交通計画を策定予定。 (2月にパブリックコメントを実施し、3月中に計画を策定し国へ提出する。) ○なお、計画案の基本方針等は下記のとおり。</p> <p>【計画対象区域】 延岡市全域</p> <p>【計画期間】 令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度) 5年</p> <p>【基本方針と法の趣旨に基づく4つの視点】 「地域の暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワークの再構築～共創型交通の実践～」 ▶視点1 まちづくりと連携した持続可能な公共交通網の構築 ▶視点2 公共交通相互の役割分担・連携強化による旅客輸送サービスの確保・維持 ▶視点3 地域毎の生活行動・特性に沿った交通サービスの最適化 ▶視点4 住民協力を含めた多様な関係者との連携・協働(共創)</p> <p>【計画目標】 ■目標1：市民の暮らしを支える市内交通ネットワークの最適化 ■目標2：地域全体で育て・支え合う持続可能な交通環境の創出 ■目標3：多様な人と交通が集まり快適で賑わいある交通結節点の機能向上 ■目標4：広域交通ネットワークの維持・活性化</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 特に、実態・ニーズ把握において、アンケート調査のみならず、市内幹線軸7路線における乗込みによるインタビュー・主要施設におけるインタビュー・交通事業者8者と市関連部局10者への直接面談方式による聞き取り調査を行い、多様な関係者を対象とした丁寧な調査を行ったことは評価できます。 また、今後の地域公共交通計画の実行にあたっては、地域の理解を得ながら施策を着実に実施するとともに、同計画に基づく各施策に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
新富町地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状整理及び公共交通の現状分析 ・町民アンケート調査の実施 ・乗合タクシー利用者アンケート調査 ・路線バス・コミュニティバス乗降調査及び利用者ヒアリング調査 ・交通事業者へのヒアリング調査 ・新富町地域公共交通計画(案)の作成 ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15歳以上の学生がいる世帯1,345世帯を無作為に抽出し、町民アンケートを実施。移動実態や移動ニーズ等を把握した。 ・交通事業者へのヒアリング等により地域公共交通の現状と課題を把握した。 ・各種調査結果を基に課題を整理したうえで、基本方針、計画目標、目標を達成するための事業等を決定し、R6.3月中に計画を策定予定。 	A	事業が計画どおり適切に実施されている。	<p>【補助対象事業名】 新富町地域公共交通計画策定事業</p> <p>【事業内容】 現状整理、現状分析・問題課題抽出 基本方針・計画目標の検証・目標達成に向けた施策の検討、計画策定、会議支援</p> <p>【実施時期】 令和6年3月策定予定</p> <p>【計画方針】 町民にとって利便性の高い地域公共交通を維持・提供していくために運行の効率化を図りながら地域公共交通の持続性を高めていくことが重要である。町民・交通事業者・行政とそれぞれの役割分担を明確にし、地域全体で守り育てる持続可能な公共交通体系を実現するとともに、新富町のまちづくりと連携しながら持続可能で安心安全な公共交通サービスの構築に向けて取り組んでいく。</p>	今回実施された調査事業は概ね適切に実施されているものと考えられます。今回の調査で整理・分析された公共交通の現状を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
木城町地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域特性及び公共交通に関する現状把握 ○地域公共交通の利用実態及びニーズの把握 ○地域公共交通の問題点課題の把握 ○将来像及び役割の検討 ○地域公共交通計画(案)の策定 ○協議会の開催 <p>【結果の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的データの整理・現況調査により地域の公共交通の状況を整理した ○地域住民へのアンケート調査(町民アンケート・子育て世代アンケート・乗合タクシー登録者アンケート)及び地域内の事業者等(商工業・医療機関・学校・交通事業者・地域住民代表)へのヒアリングによりの実施により、住民の移動需要など、公共交通の利用状況を把握することができた。 ○持続可能な公共交通網の形成に向けた目標・事業の実施主体を具体的に反映させた計画案を策定 ○今後計画案のパブリックコメントを経て、協議会による最終審議を行い令和5年度中の計画策定を行う予定。 	A	計画通り事業は適切に実施されている	<p>【基本方針】</p> <p>将来に渡って持続可能な公共交通サービスの確保・維持を目的に、既存公共交通の有効活用や町内関係者及び周辺自治体との連携強化を図り、「町民が安心して住み続けられる公共交通ネットワークの構築」</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域間幹線交通の確保・維持及び乗り継ぎ利便性向上 2. 町民ニーズに沿った公共交通サービスの提供 3. 地域の多様な関係者と連携・協働の推進 	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。今回の調査で整理された木城町における公共交通の現状や課題を踏まえ、基本方針に沿った効率的な公共交通体系を構築すると共に、地域の特性やニーズに合致した公共交通サービスが提供されることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
鹿児島県地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度に実施した公共交通に関する調査を基に地域公共交通計画を作成 ○パブリックコメントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した地域公共交通計画(案)について、県民等からの意見募集(パブリックコメント)を実施 ○地域公共交通協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3回実施 <ul style="list-style-type: none"> ※1回は令和5年度末までに実施予定 	A	<p>事業は計画に位置付けられた通り、適切に実施された。</p>	<p>(補助対象事業名) 鹿児島県地域公共交通計画策定事業</p> <p>(事業内容) 地域公共交通協議会での議論や、パブリックコメントでの県民等からの意見を踏まえ、地域公共交通計画を策定する。</p> <p>(実施時期) 令和6年3月策定予定</p> <p>(目標値等) 県内公共交通の輸送人員や県民1人当たりの財政負担額及び公共交通の利用回数を計画の達成状況を評価する数値指標として設定</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今後は、今回の調査で整理された鹿児島県内における公共交通の現状や課題を踏まえ、各市町村協議会と連携し、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月29日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
指宿市地域公共交通活性化協議会	<p>(1) 指宿市の地域及び公共交通の現状整理 ○内容：指宿市の地勢、人口分布、主要施設分布、上位関連計画、公共交通網の概況など、地域公共交通計画の検討にあたって必要となる基礎情報について、既往データを基に現状整理を行う。 ○結果：上記内容を確実に実施した。</p> <p>(2) 市民ニーズ調査 ○内容：市民の日常生活での移動実態、公共交通の利用状況、今後の公共交通への要望把握等を目的に以下の調査を実施し、結果の整理・分析を行う。 ①自治会長アンケート調査、②市民アンケート調査、③主要施設ヒアリング調査、④高等学校アンケート調査、⑤インターバス及び路線バス利用者ヒアリング調査、⑥JR指宿枕崎線利用者ヒアリング調査、⑦あいタク利用者アンケート調査、⑧山川港利用者アンケート調査、⑨観光客アンケート調査 ○結果：上記内容を確実に実施した。</p> <p>(3) 交通事業者ヒアリング調査 ○内容：市内で運行する鉄道・バス・タクシー・船舶等の交通事業者を対象に公共交通の現状、今後の意向等の把握を目的としてヒアリング調査を実施。 ○結果：上記内容を確実に実施した。</p> <p>(4) 観光団体ヒアリング調査 ○内容：指宿市の観光産業を取り巻く現状、公共交通等の移動サービスに対する意向把握等を目的としてヒアリング調査を実施。 ○結果：上記内容を確実に実施した。</p> <p>(5) 指宿市公共交通を取り巻く問題点・課題の整理 ○内容：各種調査結果をふまえ、今後の地域公共交通における問題点を分析し、取り組むべき課題を整理する。 ○結果：上記内容を確実に実施した。</p> <p>(6) 地域公共交通計画素案の検討 ○内容：上記検討結果をふまえ、指宿市地域公共交通計画(案)を取りまとめる。 ○結果：上記内容を確実に実施した。</p> <p>(7) 地域公共交通活性化協議会の開催 ○内容：計画素案の検討にあたって、調査内容や調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催する。 ○結果：令和5年6月に第1回、10月に第2回、12月に第3回を開催した。</p> <p>(8) パブリックコメントの実施 ○内容：計画素案に関するパブリックコメントを実施する。 ○結果：令和6年1月～2月に実施した。</p> <p>(9) 地域公共交通計画の策定 ○内容：パブリックコメントにおいて寄せられた意見を踏まえ、地域公共交通計画を策定した。 ○結果：令和6年3月に策定した。</p>	A	<p>パブリックコメントを実施し、令和6年3月に指宿市地域公共交通計画を策定する。</p> <p>■基本理念■ 地域で「つなぐ」公共交通で、未来へ続く健幸のまちへ！！</p> <p>■基本方針(計画の目標)■</p> <p>【目標1 変わりゆく時代においても、指宿市で暮らし続けるための公共交通の全体最適化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を支える施設へのアクセス・通勤通学の移動手段の確保 ・人口減少・高齢化の進行を考慮した効率的な公共交通の再構築 ・効率化・利便性向上のための新技術導入の検討 <p>【目標2 「観光地指宿」としての公共交通サービスの提供、情報提供による利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内観光地の周遊環境の改善 ・公共交通を活用したパッケージ商品等による利用促進 ・外国人観光客に配慮した多言語対応 <p>【目標3 地域の多様な関係者の「共創」による、持続可能な公共交通体系の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者・行政が連携した事業継続性確保の方針 ・まちづくりと一体となった公共交通体系の構築 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 基本理念に基づき地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施され、持続可能な公共交通の再構築が図られることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	